

ゆもと通信

大田区 地元の『ゆもと』

2023年 第22号

大田区議会議員(4期目) 大田区へ政策提言



ゆもと良太郎 プロフィール

46歳3児の父

昭和51年5月10日

大田区大森生まれ(A型)。

大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。都議会議員秘書を経て、

平成15年4月

大田区議会議員選挙に自由民主党公認若干26歳で初出馬、初当選(5536票)。66候補者中、新人1位。

平成19年4月

大田区議会議員選挙にて2期目の当選(5419票)。

平成27年4月

大田区議会議員選挙において3期目の当選(5523票)。

平成31年4月

大田区議会議員選挙において4期目の当選(7794票)。

令和4年度

自由民主党大田区民連合幹事長
大田区議会ICT化調査・研究会会长
大田区議会政務活動費検討会会长



これからの社会背景

支える人(減)・支えられる人(増)



人口構成の割合が変わっていきます。

支える人が減る=税収が減る

持続可能な社会へのリスク

※ 根本的な課題は 少子化 です

では、どうしたら良いか?

支える人・これから支える人に評価される街を作り、
支える人の集まる大田区を実現する。

なぜ選ばれる街を目指さなければならないのか

どこに住むかを検討する時に立地や環境、区・市の行政サービスを比較してより望ましい街を選択する傾向にあります。社会を支える現役世代の人口構成が増えれば福祉施策は充実できます。



持続可能な発展は、現役世代に選ばれる街の実現と相関関係にあります。

なぜ、子育て支援強化をすべきなのか

子育て支援強化を積極的に行い、子育て世代を中心に高い人口増加率を実現させている市が注目を集めています。子育て支援強化が街に子育て世代を集め、人口増加に伴い区内経済は活性化し、支える人が増える事により税収増が実現。増収した財源を更なる高福祉な街づくりへと繋げていく。

良い循環を作る仕組みをカタチにします。

人への投資が、私たちの希望ある未来を作ります。

明日のために「今やるべきことがある」

次世代への責任を果たせる政治を行います。

大田区の子ども施策にかかる経費について

～妊娠期から子どもの成長に合わせた切れ目ない支援～

時期や年齢別に受けられる子育て支援制度や事業などを詳しく説明します！

詳細は裏面へ！

実現した子育て支援施策

妊娠前

新規

特定不妊治療費助成（先進医療）

【令和5年予算：25,051千円、@5万円×500回】

健康保険適用外の不妊治療にかかる先進医療に要した費用のうち、都が助成した費用を差し引いた額を助成します。都の助成制度に区が上乗せして助成することで、不妊治療に係る経済的負担の軽減を図ります。助成回数は保険診療に準じ、1回の助成額は5万円を上限とします。



妊娠期

妊娠面接時の子育て応援券の配付

【令和5年予算：52,934千円、@1万円×5,400人】

妊娠届出後に「妊娠面接」を行い、妊娠から出産・子育て期に必要となる情報を提供するとともに、生活状況や心身の状態等を確認し、必要に応じて保健師による継続支援を行います。妊娠面接を受けた方へ子育て応援券として、こども商品券1万円分を支給します。



0歳

新規

出産・子育て応援事業（出産応援ギフト）

【令和5年予算：704,903千円（※子育て応援ギフト含む）、@5万円×5,400人】

全ての妊娠が安心して出産できるよう、相談支援を強化します。妊娠届を提出し、「妊娠面接」を受けた妊娠へ5万円相当のギフトを支給します。



新規

転入子育て家庭面接

【令和5年予算：4,229千円、@0.5万円×800世帯】

大田区に転入した2歳未満の子どもを養育する家庭に面接を実施し、家庭の状況を把握して早期支援を行うとともに、子育て情報を提供し、子育ての悩みや負担を軽減します。面接を受けた家庭へクオカードPay5千円分を支給します。



産後ケア事業

【令和5年予算：21,220千円、訪問型900件、日帰り型240件、宿泊型170件、グループケア型300件】

産後に母親が心身ともに安定し、家庭で不安なく子育てができるよう事業を充実します。宿泊型、日帰り型の実施医療機関を増やすほか、グループケア型の開催場所、開催回数を増やします。

新規

アニバーサリーサポート事業

【令和5年予算：163,745千円、@3万円×5,400人】

区と子育て家庭との接触機会は、4か月児健診のあとは1歳6か月児健診となります。切れ目のない伴走型相談支援を強化するため、1歳児を養育する家庭にアンケートを実施し、育児での悩みやニーズを把握する機会とします。アンケート回答者へこども商品券3万円分を支給します。



1歳

2歳

妊娠期～就学前

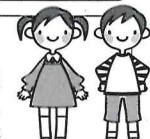
妊娠期～18歳

高校等、大学等（進学予定者）

バースデーサポート事業

【令和5年予算：84,800千円、@1万円×2,950人、@2万円×1,750人、@3万円×600人】

2歳児を養育する家庭にアンケートを実施し、育児での悩みやニーズを把握する機会とします。アンケート回答者へこども商品券を第1子には1万円分、第2子には2万円分、第3子以降には3万円分支給します。



新規

とうきょう子育て応援パートナー制度

【令和5年予算：31,445千円、母子保健支援調整員（2人）、母子保健支援員（4人）】

切れ目のない伴走型相談支援を強化するため、新たに専門職を配置します。子育て家庭の支援プラン作成や子ども家庭支援センターとの連携を強化し、特に支援が必要な家庭をきめ細やかにサポートできる体制を整えます。

子育て応援メール

【令和5年予算：10,152千円、LINE及びメール登録者数約8,000人（令和4年7月末現在）】

妊娠と0歳から就学前までの子の保護者を対象にしているメールの定期配信を、18歳の子の保護者まで拡大し、妊娠期から思春期まで子どもの成長に合わせた子育て情報を継続的に提供します。

奨学金

【令和5年予算：358,960千円、

給付型@8万円×55人、

貸付型@1.4～4.4万円×690人】

修学費用を支弁することが困難な者に対し、必要な学資金を貸付け、又は給付し、以って有用な人材を育成する。

区分	R5	構成比	R4当初	増減	増減率
福祉費のうち項	69,308,582	22.0	68,210,302	1,098,280	
児童福祉費					
衛生費のうち目	1,823,670	0.6	1,046,378	777,292	
母子保健費					
教育費	41,052,652	13.0	34,964,577	6,088,075	
総計	112,184,904	35.6	104,221,257	7,963,647	7.6

昨年当初より7,963,647千円 増↑

給食無償化を含め更なる強化を目指します

大田区議会議員 ゆもと良太郎事務所

Tel.143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10
TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482

✉ info@yumoryo-otacity.jp
http://www.yumoryo-otacity.jp